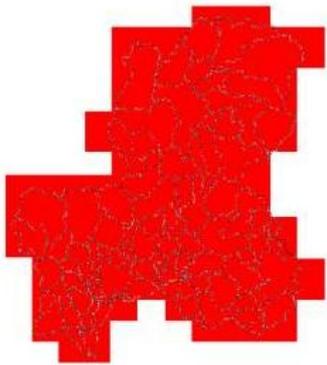


クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i> Thumb	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	写真(山崎玲子) 
形態の特徴	高さは20-40cm。大きな扇円形の2枚の葉が対生する。花も10cm程あり、唇弁が袋状になっている。花弁は淡黄緑色で側花弁と唇弁に紅色の斑点がある。根は横に広がる。花期は5-6月。	
生態的特徴	湿気が多い山地の樹林下に生える。	 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方の南部と美濃地方に分布する。	
減少要因	大型のランで目立ちやすく、園芸目的で採取されやすい。	
保全対策	採取の禁止。湿気が多い樹林下の保全と分布情報を公表しないことが望まれる。	
特記事項		
参考文献		

文責:山崎玲子